

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：眞嶋牧場

2 事業実施期間：平成29年～令和2年

3 補助額（事業費）：968,500円（2,091,960円）

4 事業内容

補助事業で自動攪拌、温度制御が出来るチーズバットを導入。
自宅牧場の生乳を使用して、ナチュラルチーズを製造販売。
製造しているチーズはモッツアレラチーズ、さけるチーズ、白カビ熟成チーズ、セミハードチーズ等。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン／日)	製造品目・ 年間製造量	年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
現況値 (H29年度)	0		0	0	—	0	—	
目標値 (R2年度)	0.08	フレッシュ 熟成 0.384 0.288	981	1,460	—	4,320	—	
実績 (R2年度)	0.03	フレッシュ 熟成 0.254 0.202	512	1,123	—	1,054	—	

6 農政局長等の総合所見

成果目標は未達成となっている。
未達成の主な要因は、製造技術の未熟によるものと考えられるので、製造技術の向上や販路拡大等の計画内容の検討など、目標達成に向けた改善措置を求める。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：秩父やまなみチーズ工房

2 事業実施期間：平成29年～令和2年

3 補助額（事業費）：7,506,382円（17,988,819円）

4 事業内容

埼玉県秩父市内に新たにナチュラルチーズの工房を設立し、秩父の人（ワイン、ウイスキー、日本酒、ビール、醤油、農産物など）や自然（水など）が産み出した豊かな恵みを生かしたオリジナル性の高いナチュラルチーズを製造・販売する。また国内外のコンテスト等にも積極的に出品し、また消費者のニーズを把握につとめ、技量の向上に努力し、国産ナチュラルチーズの消費拡大に貢献する。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量	年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
現況値 (H30年度)	0		0	0	—	0	—	
目標値 (R2年度)	0.07	白カビ その他 0.312 2.8	4,162	1,334	—	13,872	—	
実績 (R2年度)	0.07	白カビ その他 0.144 3.196	6213	760	—	21,213	—	

6 農政局長等の総合所見

成果目標は達成しており、十分な事業効果が認められる。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：株式会社長門牧場

2 事業実施期間：平成29年～令和2年

3 補助額（事業費）：46,815,000円（101,120,400円）

4 事業内容

ゴーダチーズ（商品名「みそゴーダチーズ」）の需要増に対応するため、新規に800ℓのチーズバットと熟成庫の増設を行い、今後需要が見込まれるカマンベールチーズの製造に向けて、加湿機能つき熟成庫の導入を行った。また、人件費削減のため、モツアレラチーズの成型機を導入した。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費 (千円) /年間製造量 (トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
現況値 (H28年度)	0.383	ゴーダ	モツアレラ	クリーム		計	38,517	2,568	100%	57,229	100%	
		10.3	2.6	2.1		15						
目標値 (R2年度)	0.62	ゴーダ	モツアレラ	クリーム	カマンベール	計	45,643	2,305	90%	75,137	131%	
		13.6	2.9	2.1	1.2	19.8						
実績 (R2年度)	0.22	ゴーダ	モツアレラ	クリーム	カマンベール	計	24,647	2,416	94%	50,050	87%	
		5.7	2.6	1.9	0	10.2						

6 農政局長等の総合所見

成果目標は未達成となっている。
未達成の主な要因は、新型コロナウイルスの感染拡大による需要の減やチーズバットの不具合等によるものと考えられるが、チーズバットの不具合は解消されているため、販路拡大等の計画内容の検討など、目標達成に向けた改善措置を求める。

別記様式第5号

国産乳製品等競争力強化対策事業の事業評価票

1 事業実施主体名：柴田牧場

2 事業実施期間：平成30年～令和2年

3 補助額（事業費）：8,166,486円（18,557,829円）

4 事業内容

現在農場においては、乳用経産牛54頭を飼育し、高品質乳の生産のために農場HACCP認証を取得しています。平成8年より乳処理、平成18年よりヨーグルトの製造を始め、宅配・ファーマーズマーケットで地元掛川を中心に販売しています。

平成26年には直売店を整備し、乳製品の販売の他にスイーツの製造も行っています。

平成30年度には新たにチーズに関する設備の導入を図り、チーズの製造を開始し、よりお客様に喜んで頂ける牧場を目指して事業を展開しています。

5 成果目標の達成状況

	生乳取扱量 (トン/日)	製造品目・ 年間製造量					年間製造経費 (千円)	年間製造経費(千円) /年間製造量(トン)	対現況比	年間販売額 (千円)	対現況比	備考
現況値 (H30年度)	0						0	0	—	0	—	
目標値 (R2年度)	0.18	モツアレラ	カチョカバロ				8,968	3,145	—	13,087	—	
		1.5552	1.296									
実績 (R2年度)	0.075	モツアレラ	さけるチーズ	カチョカバロ	カマンベール	その他のチーズ	4428	4,871	—	6,325	—	
		0.207	0.135	0.049	0.163	0.355						

6 農政局長等の総合所見

成果目標は未達成となっている。

未達成の主な要因は、製造技術の未熟や新型コロナウイルスの感染拡大による需要の減ものと考えられるので、製造技術の向上や販路拡大等の計画内容の検討など、目標達成に向けた改善措置を求める。